

富山宣言

近年の核家族化や都市化の進展等により、地域のつながりが希薄化し、子育てに対する不安感や負担感が大きくなってきている。

富山県では、平成22年8月31日に「富山県子育て支援センター連絡協議会」を設立し、センター・ひろば・児童館をはじめ、小規模な地域子育て支援センター（ミニサロン）が一体となった「富山方式の子育て支援」としてのネットワークをスタートした。

本全国セミナーは、第1回を2007年に熊本県で、第2回を2009年に山口県（下関市）で開催し、第3回の富山県では、子育て支援の型の違いを超えて連携し開催している。

今年の3月に発生した東日本大震災では、子ども達を決死の思いで救い避難するなど、被災地における子育て支援、つまり子どものいのち・未来を守ることの大切さが、改めて問われ気付かされた。そして、今回子ども達の声と笑顔に勇気付けられ、復旧復興に頑張っている方々の存在を知り、災害時における子育て支援のあり方を考えさせられた。

この様な年に、富山県で子育て支援の型の違いを超えて連携し、開催できた意義は大きい。今こそ、全国で手をつなぎ真の子育て支援の目的・理念を再確認する必要があると考える。

そして、地域社会で「子ども・子育て支援」を行い、すべての人が子どもと子育てに関わりをもつ社会を実現することをここに宣言する。

平成23年8月26日

第3回 子育て支援センター全国セミナー2011 in 富山